

## 令和5年度第1回保幼小接続担当者研修(動画配信)実施について

## 1 目 的

各小学校及び幼児教育施設において、幼児期の育ちと学びを小学校教育へと円滑に接続する取組の中心的な役割を担う者（又は担うことを今後期待される者）に対し、今後の更なる取組の充実に向けた資質向上を図る。

## 2 対象者

- 保幼小接続コーディネーター  
（各小学校において、幼児教育との連携・接続等に向けて中心的な役割を担う者）
- 園内リーダー  
（各幼児教育施設において、小学校との連携・接続等に向けて中心的な役割を担う者）
- ※ 市町村幼児教育アドバイザー等が、アドバイザーとしての資質向上のため受講してもよい。
- ※ 校内や園内等の研修等において、職員の共通理解を図るために活用してもよい。

## 3 内 容

講義 1（動画配信）（60分） ※初担当者向け（基礎）	保幼小接続の推進に向けて（県の事業を踏まえて） 講師：就学前教育・家庭教育推進室担当者
講義 2（動画配信）（60分）	幼児教育の理解と保幼小の接続の質の向上に向けて 講師：公益社団法人 全国幼児教育研究協会茨城支部 参与 （前常磐短期大学 副学長） 福田 洋子 氏

※講義 1、2 のどちらか 1 つを視聴、または両方視聴しても可

## 4 配信期間 令和5年5月26日（金）～6月16日（金）

受講期間を過ぎても、園内・校内研修等での活用のための視聴は可能。

## 5 申込方法

URL または QR コードより各自受講申込を行う。（申込締切：5月22日（月））

URL：[https://s-kantan.jp/pref-ibaraki-u/offer/offerList\\_detail.action?tempSeq=41682](https://s-kantan.jp/pref-ibaraki-u/offer/offerList_detail.action?tempSeq=41682)

- ・申込方法については、別添参考の「いばらき電子申請・届出サービスによる研修申込の方法」を参照すること。
- ・所属長の許可を得て申込むこと。
- ・「連絡先メールアドレス」には、所属先メールアドレスを登録する。所属先メールアドレスが登録できない場合は、研修の連絡を確実に受け取ることのできるメールアドレスを登録すること。
- ・オンライン申込ができない場合は、【参考様式】参加申込書を市町村教育委員会の定めた締切日までに市町村教育委員会に提出し、申し込むこと。（市町村→県 提出締切：5月22日（月））



研修申込

## 6 受講方法

- (1) 登録メールアドレス宛に、資料・動画 URL の取得方法やファイル閲覧パスワード・アンケート等を5月25日（木）までに通知するので、確認の上、資料・動画 URL 等をダウンロードする。  
（掲載予定場所：「家庭教育応援ナビ」  
→「研修資料・教育」→「就学前教育（PW 入力）」）
- (2) 4 の配信期間中に各自受講の上、受講後にアンケートに回答する。  
（アンケート回答締切：6月19日（月））

家庭教育応援ナビ

検索



応援ナビ

**【今後の研修予定】**（受講希望の場合、各回毎に申込が必要。第2～4回の申込は後日通知する）

- ・研修予定は変更になることがあります。変更連絡等については、通知するとともに、「家庭教育応援ナビ」の「幼児教育関係研修情報」にも掲載します。
- ・研修計画の中に相互参観を位置づけました。各小学校、幼児教育施設での実施にご協力をお願いいたします。

回	日程及び会場等	内容
	<p><b>【各小学校・幼児教育施設で相互参観を実施】</b>  <b>保育者（園内リーダー）は小学校の授業参観、</b>  <b>小学校教員（保幼小接続コーディネーター）は幼児教育施設の保育参観</b>  <b>期間：令和5年4月～10月末</b>            ※早めの実施が望ましいが、学校や園の事情により年度末までに実施でもよい。</p>	
	保育者→近隣の小学校へ、 小学校教員→近隣の幼児教育施設へ、直接申込し日程を相談  （その他、参観及び体験型研修に参加する場合も含む）	参観の目的：小学校教育（幼児教育）の相互理解 視点（例）：子どもの姿、遊びや授業のねらい、先生のかかわり、環境等 <ul style="list-style-type: none"> <li>・参観を受ける側は、案内者をおき、説明や参観者の質問を受けるなどするとよい。</li> <li>・事後に感想を伝えるなど、意見交換するとよい。</li> <li>・実施レポートの提出は求めない。</li> <li>・保育体験や授業体験も効果的である。</li> <li>・<u>実施できない場合は、映像資料や動画を活用しての校内・園内研修等、代替の取組を工夫する。</u></li> </ul>
第2回 I～II期は 同一の内容	I期 7月5日（水） （県教育研修センター） II期 7月14日（金） （県南生涯学習センター）	「特別支援教育の視点から考える保幼小の連携・接続」 講義動画配信 集合研修（映像資料視聴後、協議）
第3回	8月10日（木） （オンライン）Zoom ※第3回は小学校教員対象。	午前：講義「幼保小の架け橋プログラムの実施に向けて」（文部科学省調査官による講演） 午後：（小学校教員対象）講義、協議  <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;">             同日に義務教育課主催で開催される「幼児教育教育課程研究協議会」の午前の講義と同じ内容を小学校教員向けにオンライン配信する。午後は別日程で行う。           </div>
第4回 I～III期は 同一の内容	I期 10月26日（木） （県教育研修センター） II期 11月1日（水） （県南生涯学習センター） III期 11月10日（金） （県西生涯学習センター）	「接続カリキュラムの実践・改善に向けて」 （事前講義動画配信、実践発表、協議） ※グループ協議 5歳児の遊びや1年生の授業の場面を例に、子どもが主体性を発揮し、生き生きと遊び込む（夢中になって学ぶ）姿を促す「環境の構成」「先生のかかわり」等をテーマに、保育者と教員で語り合います。